

夢中熱中青春ライフ!

70周年

①

大館吹奏楽団(略称OCCB)

今回は、音楽を楽しむ仲間が集まって結成された大館吹奏楽団をご紹介します。十一月二十四日に市民文化会館で開催される結成十周年記念コンサートに向け、現在猛練習中。団長の山田敬一郎さんから伺いました。

結成当初は

練習場所に苦労

大館吹奏楽団の結成は、昭和五十六年の六月です。当時、県内には社会人の吹奏楽団が四つくらいあったんですね。それで「大館にも」ということから、

林内科医院の先生や鳳鳴高校の音楽の田山先生、田山先生の教え子たちなどが中心となって、吹奏楽部出身者に声をかけ仲間を集めたんです。

現在、団員は高校生から六十五歳まで四十五人。ほとんどが仕事を持った人たちです。練習は週二回、水曜日と金曜日に広域交流センターでやってますが、結成後二年間は練習場所の確保に苦労しました。社会人がほとんどですから、練習は夜になりますし大きな音がでますので、近所の人たちから苦情がきて、地区公民館や町内会館などを点々としたもんです。



最年長でストリングバスを担当の山田団長

団の活動は、春と秋の定期コンサート開催、比内養護学校での訪問



練習に集まった団員の皆さん

クリスマスコンサート開催などです。また、吹奏楽コンクールへの出場、県内の社会人吹奏楽団との交流を積極的にするなど、演奏技術のレベルアップを図るようにしています。

コミュニケーションと

音楽を楽しむ心を大切に

団の悩みは、転勤や仕事の都合などで団員が固定しないのと、全員集まった練習がなかなかできないことです。全員集まるのはコンサートやコンクール当日ぐらいですね。ですから、演奏技術のレベルアップは必要ですが、長い活動を続けるためには、何よりも団員相互のコミュニケーションと音楽を楽しむ心を大切にしています。

吹奏楽経験のある人の入団はいつでも歓迎します。

堺 発 → 大館着

前略

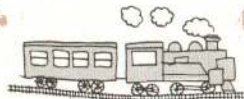
大館市民になりました⑧

▽今回は獅子ヶ森にお住まいの大野貴章さんご一家です。
Q・ご家族は何人ですか?
妻と子供の三人です。子供は三歳になります。

Q・どちらから転入されましたか?
今年の四月に大阪府堺市からです。私は北海道、妻は大阪の出身なんです。

Q・大館の第一印象はいかがでしたか?
山の中ですが、田んぼが多く高層ビルが少ないので広々と感じました。桂城公園や長木川土手など、市内には桜が多くピンク色の花がきれいでした。

Q・食べ物や言葉などでとまどいはありませんか?
こちらの味付けは塩辛いですね。あちらでは薄味でしたから。トンプリは、緑の色合いがいいですけど、味がなかったです。それに、サクラ肉を初めて見ました。赤くてきれいな肉ですけど、とても食べられませんでした。言葉は、今はだいたい慣れましたけど、桂城公園に子供が行ったとき、おばあちゃんに話しかけられたんですが、全然分からなかったです。



Q・大館にどんなことを望みますか?
駅前が暗くて寂しいです。二丁目までアーケードでつないだらと思います。まちの規模にしては交通渋滞はすごいです。早くバイパスなどを設けて解消して欲しいですね。それに、児童公園などたくさんありますけど、雨の日でも子供を連れて行って遊べる場所があったらと思います。



貴章さんと綾子さん、長男の聡くん